

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成20年2月28日(2008.2.28)

【公表番号】特表2003-517839(P2003-517839A)

【公表日】平成15年6月3日(2003.6.3)

【出願番号】特願2001-546906(P2001-546906)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 P 31/18

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 B

C 1 2 N 5/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月21日(2007.12.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 図1に示されるg a g / p o l遺伝子のコード配列を有するH I V - 1 g a g / p o l遺伝子を含む、核酸構築物。

【請求項2】 図2に示されるp o l遺伝子のコード配列を有するH I V - 1 p o l遺伝子を含む、核酸構築物。

【請求項3】 図3に示されるg a g遺伝子のコード配列を有するS I V - 1 g a g遺伝子を含む、核酸構築物。

【請求項4】 H I VまたはS I V 5' L T R、パッケージングシグナル、図1に示される配列を含むg a g / p o l遺伝子、5' スプライシング部位、3' スプライシング部位、e n v遺伝子、t a t遺伝子、機能的なR N A輸送要素および3' H I VまたはS I V L T Rを含む核酸構築物であって、機能的なG a g、P o lおよびE n vピリオン構成要素を産生することが可能な、前記核酸構築物。

【請求項5】 請求項1、2、3または4の核酸構築物を含むベクター。

【請求項6】 請求項1、2、3または4の核酸構築物を含む形質転換宿主細胞。

【請求項7】 前記細胞が真核細胞である、請求項6の形質転換宿主細胞。

【請求項8】 前記細胞がヒト細胞である、請求項7の宿主細胞。

【請求項 9】 前記細胞が原核細胞である、請求項 6 の形質転換宿主細胞。

【請求項 10】 前記細胞が大腸菌 (E. coli) である、請求項 9 の宿主細胞。

【請求項 11】 請求項 1、2、3 または 4 の核酸構築物および薬学的に許容しうるキャリアーを含む、薬剤組成物。

【請求項 12】 哺乳動物において抗体を誘導する方法であって、哺乳動物に請求項 11 の組成物を投与することを含み、前記核酸構築物が、前記哺乳動物において、前記抗体を誘導するのに有効な量で存在する、前記方法。

【請求項 13】 哺乳動物において、細胞傷害性 T リンパ球を誘導する方法であって、哺乳動物に請求項 11 の組成物を投与することを含み、前記核酸構築物が、前記哺乳動物において、細胞傷害性 T リンパ球を誘導するのに有効な量で存在する、前記方法。

【請求項 14】 哺乳動物において、HIV 感染に対する免疫を誘導するワクチン組成物であって、薬学的に許容しうるキャリアーを含み、そして、in vivo で細胞において、HIV Rev 制御タンパク質の非存在下で、HIV Gag および Pol タンパク質を産生することが可能な、治療的に有効な量の請求項 1 の核酸構築物をさらに含む、前記ワクチン組成物。

【請求項 15】 哺乳動物において、HIV 感染に対する免疫を誘導するワクチン組成物であって、薬学的に許容しうるキャリアーを含み、そして、in vivo で細胞において、HIV Rev 制御タンパク質の非存在下で、HIV Pol タンパク質を産生することが可能な、治療的に有効な量の請求項 2 の核酸構築物をさらに含む、前記ワクチン組成物。

【請求項 16】 前記哺乳動物がヒトである、請求項 14 記載のワクチン組成物。

【請求項 17】 前記哺乳動物がヒトである、請求項 15 記載のワクチン組成物。

【請求項 18】 レンチウイルス発現系であって：

(a) 図 1 に示されるヌクレオチド配列を有する HIV-1 gag / pol 遺伝子を含む、パッケージングベクター；

(b) トランスファーベクター；および

(c) エンベロープコードベクター

を含む、前記系。

【請求項 19】 請求項 18 のレンチウイルス発現系を含む、形質転換宿主細胞。

【請求項 20】 前記細胞が真核細胞である、請求項 19 の形質転換宿主細胞。

【請求項 21】 前記細胞がヒト細胞である、請求項 20 の宿主細胞。

【請求項 22】 レンチウイルス粒子を作成する方法であって、宿主細胞において、エンベロープタンパク質をコードする遺伝子の存在下で、図 1 に示される HIV Gag および HIV Pol をコードするヌクレオチド配列を含むベクターから、HIV Gag および HIV Pol を発現させることを含む、前記方法。

【請求項 23】 Rev、Tat、およびいずれかのウイルス RNA 輸送要素の非存在下で機能することが可能なレンチウイルス発現系であって：

(a) 阻害 / 不安定性領域を除去するよう変異している、HIV-1 gag / pol 遺伝子を含む、パッケージングベクター；

(b) トランスファーベクター；および

(c) エンベロープコードベクター

を含む、前記系。

【請求項 24】 請求項 23 のレンチウイルス発現系を含む、形質転換宿主細胞。

【請求項 25】 前記細胞が真核細胞である、請求項 24 の形質転換宿主細胞。

【請求項 26】 前記細胞がヒト細胞である、請求項 25 の形質転換宿主細胞。

【請求項 27】 Rev、Tat、またはいずれかのウイルス RNA 輸送要素の非存在下で、レンチウイルス粒子を作成する方法であって、宿主細胞において、阻害 / 不安定性領域を除去するよう変異している、HIV-1 gag / pol 遺伝子から、HIV Gag および HIV Pol を発現させ、そしてその発現が、Rev、Tat、または

いずれかのウイルスRNA輸送要素に非依存的である、エンベロープコード遺伝子からエンベロープタンパク質を発現させることを含む、前記方法。

【請求項 28】 図16に示されるenv遺伝子のコード配列を有するSIV-1 env遺伝子を含む、核酸構築物。

【請求項 29】 請求項 28 の核酸構築物を含む、ベクター。

【請求項 30】 請求項 28 の核酸構築物を含む、形質転換宿主細胞。

【請求項 31】 請求項 28 の核酸構築物および薬学的に許容しうるキャリアーを含む、薬剤組成物。